

# 豊かなウォーターフロント2017

## フォトコンテスト 海とみなと— その役割・防災・歴史・観光

本コンテストは、写真を通じて海辺や港の四季折々、津々浦々の姿を表現していただき、ともすれば港と疎遠になりがちな方々に対してその素晴らしさを再認識していただくと共に、ウォーターフロントの景観への意識を高めることを目的としています。

今年で25回目の本コンテストは、「海とみなと—その役割・防災・歴史・観光」というテーマに414点もの応募がありました。いただいた作品に対して平成28年10月24日に厳正なる審査を行った結果、次のとおり素晴らしい入選作品を決定させていただきました。

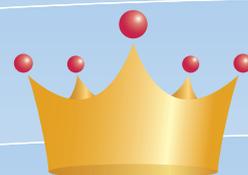
### 総評

このコンテストも歴史のあるものとなり、変わりゆくウォーターフロントの姿を撮り続けてきた皆さんの作品は貴重な記録となっています。

海は食料の宝庫であり、物資輸送の大動脈でもあります。その反面、台風や津波による被害にも度々悩まされてきました。そんな中、港湾設備は年々近代化され、照明技術の進歩もあって、実に華やかな景観が増えています。又、防災面でも大がかりな工事が着々と進められています。そして、海に囲まれたわが国では、変化に富んだ美しい海岸の景観が随所にみられる恵まれた国で、海辺でのまつりやイベントが各所で行われています。

応募作品を見ると、スケールの大きな有名な港の景観やイベントなど、華やかな光景を撮った作品が多く、そんな中に優れた作品が多かったのですが、一方、歴史のある施設、防災のための施設や、海で働く人々の姿など地味な狙いの作品が少なかったのが残念でした。

次回はより広い視野で発見したウォーターフロントの世界を見せてほしいと思います。



神戸市神戸港

巨船来港

佐藤孝

最優秀賞  
国土交通大臣賞



ダイナミックな画面構成で捉えたカメラワークが実に見事です。カメラポジションが的確な上、夕暮れの、空にかすかに明るさが残る時間にシャッターを切ったのがよかったのです。前景に赤く照らされた橋を力強く入れ、華やかにライトアップされた豪華客船の雄姿、そして遠景に神戸港の特色ある風景を上手に写し込んで、ファンタジックな世界を創り上げています。



江戸時代初期の姿を残す手結内港とのこと。緑の美しい小さな入り江に石垣で囲まれて造られた、小さな港のたたずまいが素朴で、江戸時代にタイムスリップしたようです。

手前の石灯籠のように見えるのは灯台だったのでしょうか。穏やかでゆったりとした時間の流れが感じられる秀作です。



雪本信彰  
香南市手結内港  
今も残る江戸初期の港  
国土交通省港湾局長賞



実に華やかな光景ですね！！

快晴の下、雄大な横浜港を舞台に行われている結婚式。高い位置から狙い、シンメトリーな構図に切り取ったことで、幸せあふれる二人と参列者の様子が実に印象深く目に飛び込んできます。

背景のビル群の描写も見事で、逆光の効果で参列の人々が立体的に描写されているのも見事です。



平野昌子  
横浜市横浜湾  
お幸せに…  
(公社)日本港湾協会会長賞



競技大会が行われる日なのでしょう。堤防に囲まれた湾内にたくさんの白い帆が画面いっぱいに広がり、その間を往き来する人々の様子から参加者の高揚感が伝わってくるようです。

防波堤の外に幾重にも白い帆が点々と連なる光景を少し高い位置からうまいフレーミングで捉え、白い帆でうめつくした端正な画面構成に仕上げたのが上手です。



高いビルの上から撮影したのでしょう。手前のみどり色に照らされた屋根形の造形、右下には盆踊りの舞台と、周りで踊る人々がオレンジ色の照明に映え、はじけるような不思議な描写がおもしろく、遠景の描写も見事で、色とりどりにライトアップされた色の変化が美しく、神戸港のスケールの大きさと、ファンタジックな雰囲気を感じられる素晴らしい作品です。



港湾海岸防災協議会会長賞  
有田 勉 宮古市宮古港  
ヨットハーバー



観光・イベント部門賞  
浅見崇司 神戸市神戸港  
港の盆踊り



クリスマスのイベントなのでしょう。大勢のサンタさんがサーフボードに乗ってのパレード。快晴の下、すいすいと気持ちよさそうですね！！

橋の上から撮ったのでしょうか、水面を広くとり入れ、画面中央やや上部に向かって、直線が収れんするようにした画面づくりが功を奏し、近代的な横浜港のスケール感と開放感を表現しています。

小高 紘佑  
横浜市横浜港東京湾  
サントクルーズ  
観光・イベント部門賞



津波の侵入を防ぐためにつくられた沼津港の大型展望水門「びゅうお」、地上30メートルの高さに展望回廊があるそうです。

タイトルからすると、元旦にその水門を出て湾内遊覧をるところなのでしょう。初日の出の時間は過ぎているようですが、カモメの飛び交う中、水門をくぐり遊覧に向かう乗客の人々の高揚感が伝わってくるようです。

齋藤 洋子  
沼津市三津港  
至福！元旦の遊覧  
観光・イベント部門賞



すばらしく空気の澄んだ日に出会いましたね！！高所から、魚眼レンズの描写効果を生かして、みなとみらい21の夜の景観を見事なフレーミングで捉えています。

最近の照明技術の進歩はめざましく、各地の夜景はますます華やかになっています。この作品も、眼下の様子から遠くの水平線に到るまで、点々と連なる灯りまでも描写されていて、宝石をちりばめたような美しさです。



平安時代から瀬戸内海水運の中継港として栄えていたという尾道。

今でも尾道水道は水運業が盛んなのでしょうか、対岸は船のドッグの様ですが、立ち並ぶクレーンの様子から活気が感じられます。手前の建物群も昔の面影を残しているようで、ゆったりとした水の流れと、点在する船の姿から長閑な風情が感じられます。



景観部門賞

末廣周三  
横浜みなとみらい

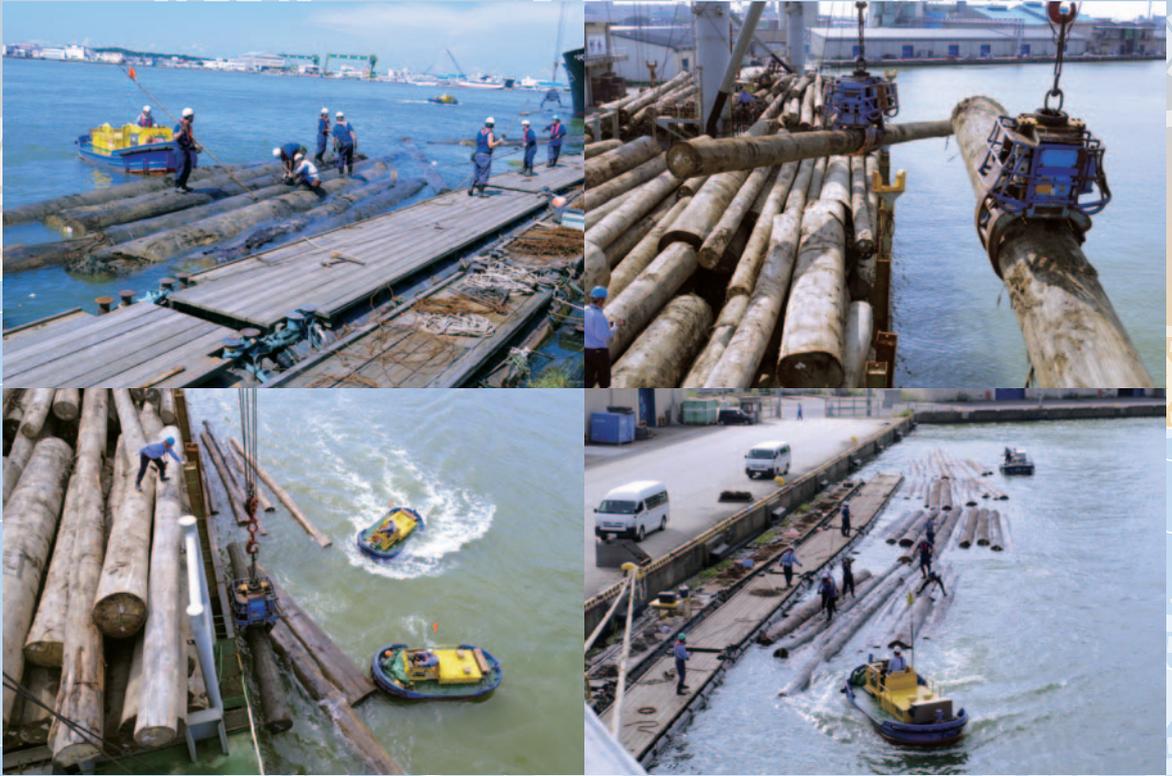


景観部門賞

山崎泰  
尾道市

仕事部門賞  
南洋材荷役

木南雄平  
新潟市新潟港西埠頭



広々とした新潟港の埠頭で、木材を船に積み込む作業をしているのでしょう。一連の作業を変化のある視点の4カットでまとめ、荷役作業の流れとスケールの大きさを良く表現しています。

木材の重量感、木材の上で指揮をとる人、そして小型ボートで木材を寄せる作業の人、クレーンを操縦する人、みんなの意気が合っただけの仕事なのでしょう。

緊張感が伝わってきます。

防災部門賞  
荒れる外海

山崎秀司  
京丹後市竹野漁港



今年は日本をはじめ世界各地で異常気象による災害が多く発生しました。この作品を拝見すると自然の猛威がストレートに感じられる作品です。陸に上げられ、整然と並ぶ漁船に襲いかかるかに見える大波は防波堤によって守られているのでしょう。海岸にそびえる黒い大きな岩が不気味な雰囲気をかもし出しています。



かつては石狩炭田の石炭積出し港として栄え、貿易港として発展してきた小樽。今は運河沿いにしゃれた店が並び、女性に人気の観光地になっています。  
夕暮れの小樽運河に映える夕暮れの風景と、水面に点々と設置されたイルミネーションとの相乗効果でファンタジックな世界を創り上げています。

運河部門賞  
確井節子 小樽市  
薄暮の運河



安政6年の開港以来、生糸の輸出港として急激に発展、現在全国一の国際貿易港を誇る横浜港。その発展はめざましく、近代的な開発が年々進められている中、昔の面影を残す多くの建造物なども大切に保存されています。  
そのような視点で捉えた横浜港の俯瞰風景ですが、実にシャープな描写に感心します。

歴史部門賞  
片山和澄 横浜市横浜港  
横浜村からのレガシー



池ヶ谷悠理 静岡市清水港  
**日本のツーショット**  
 小学生・中学生部門賞



豪華客船と雄大な富士山。大きさを競いあっているように切り取った大胆な画面構成に驚かされます。点々と見える船上の人々の様子から客船の大きさが想像できます。清水港での撮影だそうですが、デッキからの富士山の眺めは素晴らしいことでしょう。船旅に行きたくくなります。

豊かなウォーターフロント 2017 フォトコンテスト

優秀賞

ごらんのとおり、バラエティに富んだ優れた作品ばかりで、レベルの高さに感心します。そして、あらためて人と海とのかかわりの深さと多様さを再認識させられました。

しかし、長年続いているコンテストでは、過去に入選した作品に類似したものが多く寄せられる傾向があるのも事実です。

今回も横浜や神戸など有名で大きな施設を撮った作品が多く寄せられましたが、日常生活の中での身近な海とかかわりのある光景など、気軽に写した作品も歓迎です。

次回はぜひ皆さんの目で発見した、新しいウォーターフロントの世界を期待しています。そして、応募の少ない、歴史、防災、運河部門にも目を向けてほしいと思います。



小椋利昭

**日本丸総帆展帆の日**

横浜市横浜港  
 観光・イベント部門

豊かなウォーターフロント **2017** フォトコンテスト

優秀賞

外尾英介

入港

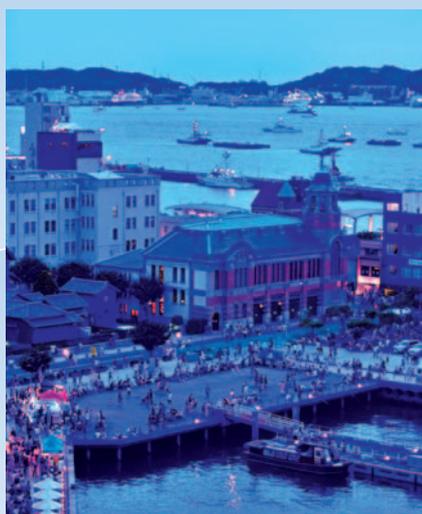
北九州市ヒビキコンテナターミナル  
観光・イベント部門



倉田雅弘

にぎわい

玉野市宇野港  
観光・イベント部門



河野勉

海峡暮色

北九州市門司港  
観光・イベント部門

高橋弘

船乗りの礼法

宮古市藤原埠頭  
観光・イベント部門



芝崎静雄

進水式

今治市  
観光・イベント部門

田村一彦

海女まつり

南房総市白浜  
観光・イベント部門



大久保紘季  
**出航の時**  
唐津市唐津港  
景観部門



金岡明光  
**夜明け前**  
富士市  
景観部門



仲川幸延  
**餅まき**  
宇和島遊子湾  
景観部門



松田裕次  
**何処へ**  
日向市細島商業港  
景観部門



長谷川裕二

**炎天下での戦い**  
長崎市長崎港  
観光・イベント部門



間瀬幾雄

**入港・本牧埠頭**  
横浜市本牧埠頭沖(港内クルーズ)  
観光・イベント部門



山本健太郎

**散餅銭**  
今治市波方造船所波方港  
観光・イベント部門



玉置良宗

**海中渡御**  
蒲都市三谷温泉前海岸  
観光・イベント部門



豊かなウォーターフロント **2017** フォトコンテスト

優秀賞

高橋住江

只今造船中

長崎市長崎港  
仕事部門



仲道幸子

未来の青年

浦添市浦添北道路橋梁工事  
仕事部門



中村守男

海上輸送

呉市呉湾  
仕事部門



望月信明

朝の入港

静岡市清水港湾沖  
景観部門



矢野正樹

繋がり、多様な大阪港

大阪市府の咲州庁舎展望室  
景観部門



山下孝治

水辺の鏡

長崎市長崎港  
景観部門



高橋一吉  
**大阪港渡し舟**  
大阪市大阪港  
仕事部門



西山敦  
**新旧交代**  
新潟市新潟港東港  
仕事部門



山台雄三  
**晴れの進水式**  
伯方町  
仕事部門



松山進  
**出港の挨拶**  
横浜市横浜港  
仕事部門



杉浦正幸  
**四万十の輝き**  
四万十市四万十河口  
仕事部門



横山雪子  
**フェリー到着**  
高松市高松港  
仕事部門



後谷弘  
**帰港**  
射水市奈呉の浦海岸  
防災部門



吉田宏  
**輸出の船積を待つ車群**  
横浜市横浜港  
仕事部門



豊かなウォーターフロント **2017** フォトコンテスト



川上勝  
北海道を往く、跳ぶ  
北九州市門司区めかり海岸・関門海峡  
運河部門



高橋康資  
特別警戒  
横浜市横浜港  
防災部門



中村哲雄  
打ち寄せる大波  
御前崎市御前先海岸  
防災部門



齋藤力  
運河の要衝  
江東区新砂豊洲運河  
運河部門



山西典夫  
春宮み  
高知市堀川  
運河部門



石井清治  
古しえの防波石垣  
唐津市唐津城石垣  
歴史部門



杉山千佳子  
展望水門びゅうお  
沼津市我入道海岸  
歴史部門



齊藤芳正  
陸奥主砲還る  
横須賀市横須賀港  
歴史部門



藤松政晴  
船を待てども  
長崎市小菅修船場跡  
歴史部門



**国土交通大臣賞 (最優秀賞)**

佐藤 孝 (神戸市神戸港)

**国土交通省港湾局長賞**

雪本信彰 (香南市手結内港)

**(公社)日本港湾協会会長賞**

平野昌子 (横浜市横浜湾)

**港湾海岸防災協議会会長賞**

有田 勉 (宮古市宮古港)

**観光・イベント部門賞**

浅見崇司 (神戸市神戸港)

**観光・イベント部門賞**

小高紘佑 (横浜市横浜港東京湾)

**観光・イベント部門賞**

賞齋藤洋子 (沼津市三津港)

**景観部門賞**

末廣周三 (横浜市みなとみらい)

**景観部門賞**

山崎泰 (尾道市)

**仕事部門賞**

木南雄平 (新潟市新潟港西埠頭)

**防災部門賞**

山崎秀司 (京丹後市竹野漁港)

**運河部門賞**

碓井節子 (小樽市)

**歴史部門賞**

片山和澄 (横浜市横浜港)

**小学生・中学生部門賞**

池ヶ谷悠理 (静岡市清水港)

**優秀賞**

**[観光・イベント部門]**

小椋利昭 (横浜市横浜港)

倉田雅弘 (玉野市宇野港)

河野 勉 (北九州市門司港)

芝崎静雄 (今治市)

外尾英介 (北九州市ヒビキコンテナターミナル)

高橋 弘 (宮古市藤原埠頭)

田村一彦 (南房総市白浜)

長谷川裕二 (長崎市長崎港)

間瀬幾雄 (横浜市本牧埠頭沖 (港内クルーズ))

山本健太郎 (今治市波方造船所波方港)

玉置良宗 (蒲郡市三谷温泉前海岸)

**[景観部門]**

大久保紘季 (唐津市唐津港)

金岡明光 (富士市)

仲川幸延 (宇和島遊子湾)

松田裕次 (日向市細島商業港)

望月信明 (静岡市清水港湾沖)

矢野正樹 (大阪市府の咲川岸倉展望室)

山下孝治 (長崎市長崎港)

**[仕事部門]**

高橋住江 (長崎市長崎港)

仲道幸子 (浦添市浦添北道路橋梁工事)

中村守男 (呉市呉湾)

西山 敦 (新潟市新潟港東港)

松山 進 (横浜市横浜港)

横山雪子 (高松市高松港)

吉田 宏 (横浜市横浜港)

高橋一吉 (大阪市大阪港)

山台雄三 (伯方町)

杉浦正幸 (四万十市四万十河口)

**[防災部門]**

後谷 弘 (射水市奈呉の浦海岸)

高橋康資 (横浜市横浜港)

中村哲雄 (御前崎市御前前海岸)

**[運河部門]**

川上 勝 (北九州市門司区めかり海岸・関門海峡)

齋藤 力 (江東区新砂豊洲運河)

山西典夫 (高知市堀川)

**[歴史部門]**

石井清治 (唐津市唐津城石垣)

齊藤芳正 (横須賀市横須賀港)

杉山千佳子 (沼津市我入道海岸)

藤松政晴 (長崎市小菅修船場跡)

**主催 (公社)日本港湾協会**

港湾海岸防災協議会

**後援**

国土交通省

**協賛**

(一社)日本旅客船協会

(一社)ウォーターフロント協会

(一社)日本外航客船協会

(一社)日本マリーナ・ビーチ協会

(一財)みなと総合研究財団

(一財)港湾空港総合技術センター

富士フィルムイメージングシステムズ(株)

**審査員 (順不同・敬称略)**

齋藤 潮 <東京工業大学大学院教授>

廻 洋子 <淑徳大学教授>

富岡畦草 <写真家>

松野正雄 <写真家>

逸見 仁 <写真家>

村岡 猛 <国土交通省港湾局海岸・防災課長>

佐々木 宏 <国土交通省港湾局海洋・環境課長>

須野原 豊 <(公社)日本港湾協会理事>